2021 年度第 3 回評議員会議事概要

日時：2021 年 11 月 16 日（火） 17：00−20：00
場所：一般社団法人日本結晶学会事務局
出席者※：Zoom 会議
足立伸一[a]，井上 豪[a]，海野昌喜[a]，岡崎伸生[a]（情報幹事），上村みどり[a]，神山 崇[a]（監査役），熊坂 崇[a]，栗栖源嗣[a]，小島優子[a]，小松一生（会計幹事），清水敏之[a]，菅原洋子（監査役），関根あき子[a]，千田俊哉[a]，千田美紀[a]，玉田太郎[a]，藤間祥子[a]，中川敦史，西堀英治[a]，禾 晃和（庶務幹事），橋爪大輔（行事幹事），橋本 博[a]，樋口芳樹[a]，平田邦生[a]，松村浩由[a]，三木邦夫[a]，宮原郁子[a]，森 茂生（広報幹事），森吉千佳子[a]（男女共同参画推進幹事），姚 閔[a]，山縣ゆり子[a]（会長），山本雅貴[a]，吉朝 朗[a]，和田 啓[a]
委任状出席者：植草秀裕，尾関智二[a]，欠席者：杉山和正[a]
議長：山縣ゆり子（会長），議事録作成者：禾 晃和（庶務幹事）
2021 年度第 3 回評議員会（定数 30，構成員は[a]で表記）：出席 28，委任状出席 1，欠席 1
（五十音順）

上記のとおり定足数に足る評議員の出席があったので，議長は定刻に開会を宣し，下記のとおり議事に入った. また、議事録署名人として岡崎評議員が選出された.

議事

Zoom 会議にて開催し、音声に問題なく議事進行に支障がないことを確認し，報告および審議が行われた.

報告事項

1　幹事報告

1.1庶務幹事報告（禾庶務幹事）

2021 年 6 月 21 日から 2021 年 11 月 5 日までの会員の異動状況が報告された．2021 年 11 月 5 日現在の会員数は, 1103（個人会員 1083 名，賛助会員 20 社）である．学会共催等依頼について，協賛依頼 4 件、後援依頼 1 件が報告された.

1.2会計幹事報告（小松会計幹事）

2021 年度の予算執行状況および 2022 年度予算案が報告された．次年度の会議開催方針と電子投票導入を考慮した予算編成が行われたことが報告された．リガクファンドロに関して, IUCr2021 への参加助成が行われたことが報告された.

1.3編集幹事報告（禾庶務幹事（代理））

会誌（印刷版，電子版）の発行状況が報告されるとともに，今後の特集記事の企画について報告された.

1.4行事幹事報告（橋爪行事幹事）

コロナ禍で延期されていた「第 9 回対称性・群論トレーニングコース」（高エネルギー加速器研究機構つくばキャンパス）日本語コース（2021 年 9 月 13〜17 日）がハイブリッド

で開催されたことが報告された. 2021 年度年会および 70 周年記念シンポジウムの開催概要が説明された（北海道大学学術交流会館，2021 年 11 月 19 日～21 日）． 2022 年度年会（関西学院大学），2023 年度年会（山口大学）の準備状況が報告された.

1.5情報幹事報告（岡崎情報幹事）

日本結晶学会ホームページの掲載と閲覧状況について報告された．賛助会員の企業ロゴの学会 HP での表示について報告された.

1.6広報幹事報告（森広報幹事）

会員への毎月のメールマガジンおよび広報メールの配信実績について報告された.

1.7男女共同参画推進幹事報告（森吉男女共同参画推進幹事）

男女共同参画学協会連絡会のシンポジウム等への参加状況に関して報告された．女性比率アンケートへの対応や第 5 回大規模アンケートの会員への回答依頼について報告された.

2　AsCA 関連

栗栖 AsCA 副会長より，8 月にオンライン開催された AsCA 評議員会について報告された．従来の若手支援の Rising Star Awards に加えて、中堅支援の Mid-career Awards が新設されることが説明された．AsCA2022 は韓国（済州島）でハイブリッド開催の可能性を残しつつ現地開催が予定され，AsCA2024 はマレーシアで開催予定であることが説明された.

3　IUCr 関連

日本学術会議 IUCr 分科会の井上副委員長より，IUCr2021 の開催および参加状況が報告された．IUCr2023 はメルボルンで，IUCr2026 はカナダで開催予定であることが説明された．IUCr における新規委員会の設置と新執行部の選出について報告された．また、学術会議における加盟国際学術団体の見直し審査への対応について報告された．IUCr の設立の経緯や活動状況、日本の科学者の貢献について説明された.

4　日本学術会議結晶学分科会関連

日本学術会議結晶学分科会の菅原委員長より, 2020 年度に開催された公開 web シンポジウム「COVID-19 パンデミックを契機として考える日本の結晶学の現状と今後」の記録が学術会議 HP で公開されたことが報告された．IYBSSD2022（持続可能な発展のための国際基礎科学年）の概要について説明された．カーボンニュートラルに関する連絡会議およびパンデミックと社会に関する連絡会議の概要について報告された．第 25 期新規会員任命問題に関する学術会議の対応や情報発信の取り組みについて説明された.

5　会員数確保のための企画について

橋爪行事幹事から，包括的な研究セミナー，講義，スクールの 3 つの企画について，それぞれの主旨や開催概要について説明された.

6　若手の正会員に対する会費割引について

小松会計幹事から，若手の正会員の支援や新規の正会員の獲得、学生会員の正会員への移行の促進を目的として、若手会員の会費割引を行うことが報告された．2022 年度より開始し，3 年間を試行期間として，継続的に検証，再検討を行うこと，必要があれば適宜変更，中止する方針であることが説明された．また，従来，学生会員は卒業後 1 年間は学生会員会費を支払うことで会員資格が継続されていたが，この運用は廃止することが説明さ

れた.

7　評議員候補者推薦の電子投票の結果について

電子投票システムを作成した岡崎情報幹事より，システムの概要について説明された.

禾庶務幹事より，電子投票の経過報告とともに投票状況についての報告が行われた

投票方法：本会情報委員会作成のシステムを利用したオンライン投票

投開票日時：2021 年 10 月 30 日（土）20:00 - 21:00

開票者：禾 晃和庶務幹事，岡崎 伸生評議員

有効投票者数：92 名、投票総数：375

本会細則第 2 章第 5 条第 4 項に従って，3 票以上の得票者で上位 15 名である栗栖 源嗣（17 票），禾 晃和（15 票），植草 秀裕（13 票），山本 雅貴（12 票），松村 浩由（12 票），大原 高志（12 票），橋本 博（11 票），小松 一生（10 票），橋爪 大輔（9 票），沼本 修孝（9 票），河野 正規（8 票），中川 敦史（8 票），平田 邦生（8 票），原田 潤（6 票），藤橋 雅宏（6 票）を会員推薦候補者とした．次点は久保田 佳基（6 票）.

審議事項

1.　会員異動

2021 年度第 2 回評議員会以降の新規入会者の紹介，入会申込書類の回覧があり，全員の入会が満場一致で承認された.

2.　共催・協賛・後援

共催等依頼について別紙記載の協賛 4 件、後援 1 件が満場一致で承認された.

3.　2022 年度予算案の承認

2022 年度予算案が満場一致で承認された.

4.　2022～2023 年度評議員推薦候補者の選挙

評議員推薦による 2022～2023 年度評議員推薦候補者の選出のための投票が行われた.

投票方法：Google forms を利用したオンライン投票

投開票日時：2021 年 11 月 16 日（火）

開票者：岡崎伸生情報幹事

評議員候補者開票結果：被推薦者総数 140（投票総数 28, 5 名連記），無効数 0

本会細則第 2 章第 5 条第 5 項に従って，3 票以上の得票者で上位 10 名である上村 みどり（17 票），久保田 佳基（12 票），五十嵐 教之（9 票），菅原 洋子（9 票），千田 美紀（8 票），南後 恵理子（8 票），吉朝 朗（6 票），森 茂生（6 票），田中 良和（6 票），平野 優（6 票）を評議員推薦候補者とした．次点は姚 閔（6 票）.更に，本学会細則第 5 条第 6 項に従って，会長が，姚 閔，高田 昌樹，坂田 修身，杉本 邦久，中塚 晃彦の 5 名の会員を評議員会に候補者として推薦した.

5.　2022～2023 年度評議員候補の承認

次の 30 名を次期評議員候補者とすることが満場一致で承認された.

五十嵐 教之，植草 秀裕，大原 高志，上村 みどり，河野 正規，久保田 佳基，栗栖 源嗣，小松 一生，坂田 修身，菅原 洋子，杉本 邦久，千田 美紀，高田 昌樹，田中 良和，中川 敦

史，中塚 晃彦，南後 恵理子，沼本 修孝，禾 晃和，橋爪 大輔，橋本 博，原田 潤，平田 邦生，平野 優，藤橋 雅宏，松村 浩由，森 茂生，山本 雅貴，姚 閔，吉朝 朗（50 音順）

6. 電子投票の導入について

2022 年度に行われる次期会長および評議員選挙から電子投票を導入することが満場一致で承認された．実際に使用する投票システムについては次年度の執行部が検討することとした．

7. 次年度の会議の開催形態ついて

禾庶務幹事より，コロナ禍の影響や対面会議の重要性、会議費の抑制等を考慮し，次年度の評議員会の開催形態の方針（4 月：オンライン開催，7 月：ハイブリッド開催，11 月：対面開催（オンライン参加にも対応））が示され，満場一致で承認された．

8. 化学情報協会からの賞の創設の提案について

禾庶務幹事より，化学情報協会（JAICI）から本会の若手対象の学会賞受賞者に JAICI 賞を授与したいという提案があったことが説明され，進歩賞受賞者を対象としポスター賞受賞者は対象としないこと，受賞講演要旨を元に審査を依頼することが満場一致で承認された．

9. 医学、生物学等の実験試料の適正な運用に関する取組への協力について

山本評議員より，ドライシッパーを用いた実験試料の輸送に関する問題が説明された．学会関係者にドライシッパーの適正使用に関する啓蒙活動を行うとともに，関係省庁や団体への働きかけに学会として賛同し，支援することが満場一致で承認された．

10. 次回評議員会日程

次回評議員会（2021 年度第 4 回，2022 年度第 1 回合同評議員会）および 2022 年度第 1 回幹事会について，下記の開催案が提案された．合同評議員会については，Zoom によるオンライン開催とする方針が説明された. 2021 年度第 4 回幹事会については，評議員会開催前にオンラインで開催する方針が示された．

日時：2022 年 4 月 2 日（土）

2020 年度第 4 回・2021 年度第 1 回合同評議員会	13:00 – 16:00
2021 年度第 1 回幹事会	16:00 – 17:00

場所：Zoom によるリモート開催

以上